会　議　録

会議名	第５回　みよし市総合計画審議会　会議録
日　時	平成 26 年 11 月 6 日（木）　午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分まで
場　所	みよし市役所　3 階　研修室１・２・３
出席者 （敬称略）	堀田友三郎、阿部和俊、三井敬子、天石惇郎、清田由雅、村上雅則、鳥居鐐一、 梅川小夜子、成田博美、新谷千晶、山本哲之、高橋真、平山啓子、加藤真司、鈴木文生、 木戸友二、近藤邦彦、三宅章介、伊豆原浩二、新美修 （事務局） 市長、副市長、教育長、政策推進部次長 企画政策課：課長、副主幹、主査 （関係部局） 市民部長、総務部参事、総務部長、協働部長、健康福祉部長、環境経済部長、都市建設部長、 教育部長、教育部参事、監査事務局長、会計管理者、病院事務局長、総務部次長、 市民部次長、協働部次長、健康福祉部次長、環境経済部次長、都市建設部次長、教育部次長
次　第	１　あいさつ ２　議題 （１）審議会意見に対する市の方針について【資料１】 （２）パブリックコメント原案について【資料２】

会　議　録	
委員名	質　問　・　意　見
１　あいさつ	
事務局（次長）	ただ今より第 5 回みよし市総合計画審議会を始めさせていただきます。本日、会議の欠席の連絡を、文化協会の松浦委員、子育てクラブ連絡協議会代表の服部委員、公募委員の塚崎委員よりいただいております。最初に市長より、ご挨拶を申し上げます。
小野田市長	皆様、改めまして、おはようございます。本日はご多用の中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。今回につきましては、皆さんからいただいたご意見について事務担当から方針をお示しして、再度ご意見をいただきたいと思っています。ぜひ皆さんから忌憚のないご意見をいただき、さらにバージョンアップしたいと考えていますのでよろしくお願いします。もう一つはとてもよい話であると思い、話題を持ってきました。10 月 31 日の中日新聞に「日本人の良さは？」という見出しで「国民性調査で過去最高　親切・勤勉・礼儀正しい」というサブタイトルで記事が載っていました。これは文部科学省所管の統計数理研究所が日本人の意識を探るため 5 年おきに実施している「国民性調査」の昨年度行われた調査結果を公表したものです。複数回答で聞いたところ、「親切」が前回から 19 ポイント増の 71%、「勤勉」「礼儀正しい」はともに 77%で、いずれも過去最高となったというデータです。全国の 20 歳以上の 3,170 人が面接で回答したということです。その背景としては、やはり東日本大震災の影響というのが大きいのではないかというコメントが載っています。その中で、「たいていの人は他人の役に立とうとしているか」、

小野田市長	「それとも自分のことだけに気を配っているか」を選択させると、「他人の役に」は 08 年調査から 9 ポイント増の 45%、「自分のことだけ」は 9 ポイント減の 42%で、同じ質問を始めた 78 年以降初めて「他人の役に」が上回ったということです。こういう面が日本人のよいところではないかと思い、紹介させていただきました。今日はよろしくお願いいたします。
事務局	続きまして、堀田会長より、ご挨拶をよろしくお願いいたします。
堀田会長	この審議会も最終段階に入っておりますが、活発なご議論をいただきたいと思います。また、会議の運営にもご協力いただきまして、スムーズに進行していきたいと思います。
事務局	それでは、議題の審議に移りたいと思いますが、審議会条例の規定によりまして、会長が審議会の進行をすることになっておりますので、堀田会長よろしくお願いいたします。
堀田会長	最初に議題（1)「審議会意見に対する市の方針について」事務局より説明をお願いします。
議題　（1）審議会意見に対する市の方針について	
堀田会長	ただ今の説明につきまして、ご不明な点、あるいはご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。
山本委員	農業のところで、認定農業者数の定年は 65 歳です。今の状態が平成 30 年まで続けば、農業者が減っていくこともあると思います。そういうことも踏まえて考えていただけたらと思います。
環境経済部長	定年のことも考慮しまして、ここにも書いてありますように法人等の設立を目指して、減る分をカバーして増やしていくことで目標を設定しております。
山本委員	我々農業者が何をしてほしいかと言ったら、平成 30 年までに農業後継者を少なくとも 5 人くらい増やす方針を打ち出してもらった方が夢と希望があります。高齢化が進むことによって、認定農業者からも外れる、もしくは認定農業者でも 80 歳になっても続けなければならないことになってしまいますので、65 歳という定年の制限もありますから、農業後継者を少なくとも 5 人くらい増やすなどの目標の方が分かりやすいと思います。
環境経済部長	いろいろな考え方があると思いますが、今回は法人等のことで記載させていただいた状況です。
堀田会長	それぞれご意見やご質問をいただいた方々は今の説明でよろしいでしょうか。何かありましたら挙手をお願いしたいともいます。
近藤委員	「兼業農家」についての文言が一つもありませんが、みよし市の場合、兼業農家の数が非常に多いです。兼業農家をどのように考えているのでしょうか。また、現在の農業を守っていくためには兼業農家でしかできない部分もあると思いますので、その部分はどのように考えているのでしょうか。国の書いた文をアレンジしているかもしれませんが、みよし市の農業の考え方として兼業農家をどのようにしていくのか、一言お願いします。
環境経済部長	みよし市を含めまして全国的にも厳しい状況であるということは変わりませんが、最初の方に書いてあります農業従事者全体の高齢化、後継者の不足、農産物等の価格の低迷、TPP などの問題が大きく含まれております。特にみよし市は兼業農家が主な担い手であり、今、従事されている方が高齢になると、次の若い世代が従事してくれるとよいのですが、それも厳しい状況です。「援農ネットみよし」などの政策を考えて対応していますが、現在の農地の維持に努めていくことが兼業農家対策になるのではないかと考えています。

鈴木委員	農業の話に関連して、国は 80%の農地を企業や大きな農家に集約し、兼業農家や小さな農家はやめて企業に持っていくような方針で進めています。なぜかというと、耕作放棄地が大変広がっているということがあります。豊田市の状況を見ると、耕作放棄地が増えています。今、国では山林化してしまった農地は、農地としてみなしていません。畑から山林に変えてしまうというやり方をしていくことも仕方がないのかもしれませんが、みよし市においては耕作放棄地が少なく、幸せな状況にあります。そういったところについては、そのまま企業に持っていってしまうのではなく、兼業農家を大切に、今やっている農家が継続できる方向をよく考えるべきだと思います。コンバイン等の補助金を市の方で出していただければと思います。また、定年になった方たちが地域で活躍できるような方向性を考えていただけたらと思います。兼業農家を大切にしてほしいです。
山本委員	農家とは作ることだけが仕事だと思っているために、衰退してしまっている実情があると思います。作ることだけで精一杯で、売ることまで考えていないのです。飲食店でみよしの米を使ってもらえるようなネットワークづくりや果物とケーキ屋のコラボなどのマッチングをしてくれる人が必要です。自分たちの作ったものをネーミングやパッケージなどを考えて、みよしの商工会の飲食店などとマッチングしてくれる人がいた方が、今後、農家もやりやすいと思います。そうした取り組みが 6 次産業につながることも考えられます。こうしたことが我々の望みですがいかがでしょうか。
環境経済部長	作るだけではなく、作った喜び、また販売、地産地消という言葉もあるように農産物を地元で消費するのが一番よいと思いますので、商工会等を交えて、実現のための体制や方法を考えている最中です。そうした取り組みをやっていきたいという考えはあります。
議題　（2）パブリックコメント原案について	
堀田会長	それでは、事務局の説明に対して、ご質問、ご意見がございましたら挙手をお願いいたします。
三井委員	一点目は、64 ページの「生きがいを持って楽しく暮らせるまち」ということで、私も楽しみにしていますが、図書館学習交流プラザが 28 年にできるであろうことを踏まえて、65 ページの「生涯学習講座の講座受講者数」の目標を 4,500 人で設定していると思います。駐車場の量のことなどを考えた場合には、交通機関はとても重要になります。84 ページを見ると、「公共交通を充実させ…」と書かれていますが、次のページの平成 30 年の目標値は、「さんさんバスの運行本数」が 25 便、「近隣都市のコミュニティバスとの連携数」が 2 路線と現状値と変わりません。路線や便数が増えるということが見えてきません。 それに関連して 123 ページ、中央図書館が大きくなって、蔵書が増えるとすると、北の地区の方々に定期便を利用して貸し出しをすることがかなり増えると思います。しかし、「図書貸出冊数」の目標値は変わらず 100,000 冊になっています。単純に考えると倍に増えるのではないかと想像するのですが、この数値目標はどのようにお考えなのでしょうか。

政策推進部次長	85 ページのバスについて、中心部に図書館学習交流プラザができることによって、もう少し利用者が増えるのではないか、また、便数等はどのように考えているのかというご意見をいただきました。現在、バスについては年間利用者が、中間年の利用者数にあるように 25 万人ほどとなっています。今後、図書館学習交流プラザができることによって、ご利用等も増えてくるであろうと想定し、26 万人強の利用者を見込んでいきたいと思っています。また、「さんさんバスの運行本数」については、今のバスの台数や運行状況を見ますと、本数等の増加は見込まれません。28 年度以降の状況を見た上で、さんさんバスに関する審議会などに報告しながら検討していきたいと考えています。
三井委員	「生涯学習講座の講座受講者数」の目標値は 4,500 人と書かれていますが、今の中間報告の 25 年度に比べて約 2 倍の数になっています。周辺の駐車場の問題がかなり出ていますので、バスに期待したのです。高齢の方々が生涯学習をすることは非常によいことで、皆さん非常に期待されていると思います。しかし、バスも増便されず、数値もあまり変わっていません。84 ページに「市民ニーズに対応した公共交通サービスの向上が求められています。」と記載しているからこそ、今は 1 時間に 1 本程度ですが、30 年度には 30 分に 1 本程度になるというような打ち出しがほしいと思います。現実に、他でも新しい図書館が開設されていて、どこに行っても駐車場が満杯という状況です。公共交通網がきちんと発達していれば、高齢者も含めて利用できると思います。せめて目標値だけでも増便、路線も増やすこととし、「皆さん乗りましょう」というのがあってしかるべきだと思いました。生涯学習と図書館が一緒になるということは、滞在型になります。生涯学習だと少なくとも 2～3 時間駐車することとなります。駐車場はあまり期待できない状況の中、目標値としてバスの便数や路線数の増加が明示されないことに不安を感じます。
教育部長	三井委員につきましては、複合施設基本構想の段階から参入していただいて、駐車場についてのご心配のご意見も受けております。その中で、近隣に新設された図書館として特に日進市を参考にさせていただきまして想定しています。また、さんさんバスにつきましては、増便になったところであり、満車率などは見させていただきたいと思います。また、バス停をすぐ横に隣接させることなども考えていきたいと思っています。図書館の敷地内の駐車場は 33 台ですが近隣の駐車場も有効利用しながら、利用者の利便性向上を図っていきたいと考えています。 あわせて、サンネットの蔵書数についてご質問いただきましたが、25 年に移転し、今までよりも 3 倍以上のスペースとなり、利用者も多い状況です。一番変わったのは、閲覧室が広くなったことによる利用が多いことです。高校生の試験前などの利用が増えていますが、貸出数についてはそれほど増加しておらず、約 10%の増加という実績となっています。また、この 25 年度の数値は、メグリアにあった狭いサンネットが広くなって人気の高い段階のものです。図書館についてもそうですが、日進市の例を見ても新設時点が人気がありますので、一番人気のある時期のピークを維持することが目標になってきます。5 年後に増える想定ではなく、この人気の高い状況をピークと考えて維持していくという考え方で設定させているものですのでよろしくお願いします。

三井委員	図書館学習交流プラザという蔵書数が増える施設ができるわけですよね。ということは、25 年から 30 年の貸出数が横ばいということは考えられないと思います。当然、蔵書が増えれば貸し出しも増えるので、今のままを維持しているという数値目標が分からないのです。極端な言い方をすれば倍くらいになっても不思議ではないと思います。北の方たちが来るのが難しくても、定期便のようなものが増えるのではないでしょうか。
教育部長	サンネットが新設され、閲覧室も広くなりましたが、蔵書数については変わらないため、一番人気の高かった値を維持するという目標値の設定については消極的ではないかというお叱りの言葉をいただきました。しかしながら、岡崎市や日進市を見ていますと、地域の図書館というのは交流の場でもあるということを踏まえて現状維持とし、図書館学習プラザの方は倍増するという考えで設定させていただきました。
鳥居委員	18 ページからの土地利用について、市の面積が約 32 平方キロメートルの中で、きたよし・なかよし・みなよしの地区に分かれ 6 万人近くの方が生活しているという現状です。 今後、色々と変わってくるだろうと思いますが、特に 22 ページの「きたよし地区」の（4）に「東名三好インターチェンジ周辺」について書いてありますが、きたよし地区に住む者として、市民として、愛知大学の跡地について非常に関心があります。簡単に書いてありますが、特に都市計画の中で慎重にご審議いただきたいと思います。三好インターチェンジ周辺のことについて、この文章でよいのか、愛知大学の跡地のことも含めて検討していただけたらと思います。
都市建設部長	愛知大学の跡地については、かなり前に新聞報道にありましたようにトヨタホームが住宅開発をしていくと発表されました。その後、日数も経っていますが、最終的には決定していません。今の状況としては、市としては住宅開発が第一だと思いますが、地元のまちづくり協議会が現在その計画を進めている段階です。最終的に決定しておりませんので、総合計画に記載できない、まちづくり協議会の検討状況を見守っているという状況です。
鳥居委員	現地を見て分かるように、あの周辺には尾三衛生がありますので、住宅ができた場合、将来住む方がどのように考えるかと思うと、住宅政策を行うことの可否も真剣に考えていただきたいと思います。32 平方キロメートルの土地利用の中で、特に面積が広い愛知大学跡地について慎重に進めていただくことをお願いしたいと思います。
伊豆原委員	公共交通について、現実問題として昨年度の利用者は減っており、公共交通を利用する方は減少しています。先ほど説明であったように地域公共交通活性化再生法が改正され、今月中に施行されます。それに伴って地域公共交通会議、法定協議会がつくられるかは分かりませんが、その中でしっかりと議論していくことがこれからの本来の課題であると思います。30 年度のさんさんバスの目標を本数 25 便、利用者数 262 千人としていることの良し悪しは分かりませんが、この目標を単なる目標値にしない仕組みを作っていくことの方が大切ではないかと思います。 パブリックコメントを実施する際には、前期の計画から見て、どこを修正したのか、どこを見直して、どこを充実させたのかが分かる概要の資料を添付して公表するのでしょうか。これだけのボリュームのものを公表して、中身がどのように変わったのかが分からないまま読んでもらって、コメントを求めるということではあまりにも稚拙な方法であると思います。何らかの形で先ほどご説明いただいた改善点の要点も添えていただきたいと思います。多くの市民からコメントをもらうためにもぜひお願いしたいと思います。

事務局	おっしゃられたように、今回は中間見直しということもありまして、修正した箇所、充実した箇所について今口頭で説明をしましたが、見やすい表のようなものを作って原案とともに公表したいと思います。
三宅委員	50 ページの一番下で、「身体、知的障がい者」となっていますが、今は「精神障がい者」が含まれておりますので、入れておいた方がよいと思います。また、細かいことですが、51 ページの下の「サービスを適確に」で用いる漢字は、「的確」だと思います。
健康福祉部長	50 ページ下段の「精神障がい者」につきましては、ハローワークに確認したいと思います。51 ページの「適確」という文字についても見直したいと思います。
三井委員	105 ページ「３　子育て支援サービスの充実」の「一般不妊治療費助成者数」についてお尋ねしたいのですが、結婚や出産の年齢も高齢化している方が多くなっています。自分の周りでも不妊治療をしている方は多い状況です。25 年度の段階で 57 人で、30 年度の目標値が 50 人となっていますが、おそらく 20 年度からの目標値ということで設定されていると思いますが、現状を考えると 1.5 倍の 60 人程度にしておかないと数値的に厳しいと思います。具体的な理由があってのことなのでしょうか。
健康福祉部長	「一般不妊治療費助成者数」については、県事業の補助対象が変わったことから、人数的には減少となっています。
三井委員	可能であれば補足などを記載していただけますか。
健康福祉部長	今回追加資料として出ておりますが、説明を加えたいと思います。
伊豆原委員	133 ページの「３　債務の減少」の目標値についてですが、初年度が 5.5%、中間が 2.9%、30 年度が 13%以下となっており、あまりにも数値が異なりますがどのような理由からでしょうか。
政策推進部次長	公債費率が 18%以上で発行制限がかかってくるため、本市の財政健全化の目標として 13%以下という比率を設定しています。この数値以上には絶対にしないという趣旨であります。
伊豆原委員	施策のところにでも書いておかないと間違えると思います。18%以上で制限がかかるということは分かるのですが、ここも補足が必要だと思います。
政策推進部次長	下段に補足を記載していきます。
阿部委員	92 ページの農業のところで「6 次産業化」という言葉がありますが、説明がないと分かりにくいという懸念があります。
環境経済部長	「6 次産業化」は最近よく使われるような言葉ではありますが、一般の方にもわかるように記載を考えたいと思います。

天石委員	パブリックコメントに直接、関係することではないのですが、2ページに「みよし市総合計画基本構想に基づき、引き続き以下のとおりとします。『みんなで築く　ささえあいと　活力　の都市』」と書いてあり、これはとても重要なことで異論はありません。高齢化の問題をみても、障がい者の方にとっても、「ささえあい」というのは非常に大切なことなのですが、それにしては市民憲章に福祉に対する記載が弱いと、先日の「文化の日記念式典」で感じました。市民憲章の中に、状況や環境の変化に応じた見直しとして、皆で支えることや福祉に関することを入れた方がよいと思いました。
加藤委員	126ページに電子自治体とあり、当初の29の手続きが、49まで増えたと書いてあります。しかし、数字ではなく、現在はこういう手続きに対応していて、今後はこういう部分を充実していくなどの内容を記載した方が分かりやすいのではないかと思いました。他のところでも数字だけで説明しているようなことがあれば、内容や分野について書いていただけるとよいと思いました。
堀田会長	それでは、用意された議題は終了しましたので、特にご意見がないようでしたら、事務局に進行をお返ししたいと思います。ありがとうございました。
政策推進部次長	活発なご審議をいただきましてありがとうございました。市長よりお礼のご挨拶を申し上げたいと思います。
市長	色々とご意見をいただきまして誠にありがとうございました。たくさんご意見をいただいた中で２点ほど考えていることをご紹介させていただきたいと思います。 一つ目は、愛知大学の跡地につきましては、今の段階では9月答弁をしましたので、そちらが最新の情報です。何かありましたら、ご意見をいただきたいと思います。 二つ目は、農業についてご意見を多くいただきました。農業について本市としては大事な産業であるという認識をしています。立地条件としても大都市に挟まれた素晴らしい条件にありますので、何とか振興を図りたいと考えています。ただ様々な課題があるのが事実です。農業の振興にあたって目標を掲げていますが、まずは生産者の年間所得の大幅アップが図れるとよいと強く思っており、それが後継者の確保にもつながると考えています。その手立てとしては、先ほどお話がありましたように、マーケティングと顧客管理等が重要であると認識しています。ただ、農業生産者の方と話をしていると、よりよいものを作りたいという気持ちはあっても、マーケティングなどには目がいかないのが現状となっています。総合計画にも掲げていますが、その視点を行政としても仕掛けていきたいと思います。今年は２つ仕掛けてみて、うまくできなければ、来年、または再来年に仕掛けていきたいと思います。行政だけではできませんので、生産者や商工会の方、色んな方々に関わっていただき、連携した組織ができるような体制づくりが必要であると思っています。その仕掛けに対して、皆さんにご支援・ご協力いただくような機会があるかもしれませんので、よろしくお願いいたします。
政策推進部次長	次回の審議会は年を明けまして、2月6日（金）午後1時半から、本日と同じ会場で予定していますのでよろしくお願いいたします。 これをもちまして、第5回みよし市総合計画審議会を閉会いたします。